



豪華キャラクターが夢の競演！

～大泉学園駅北口ペDESTリアンデッキ「大泉アニメゲート」オープン～

と き 平成27年4月4日(土) オープン

と ころ 西武池袋線大泉学園駅北口ペDESTリアンデッキ上(練馬区東大泉1-28 地内)

4日、大泉学園駅北口に直結するペDESTリアンデッキの開通にあわせて、アニメデザイン空間「大泉アニメゲート」がオープンした。式典では、漫画家の松本零土さん・高橋留美子さんらも登場。モニュメントの除幕など、大泉の新たなシンボル誕生の門出を祝った。

長年大泉に住んでいる松本零土さんはあいさつの中で「大泉は終の棲家。このような場所ができてうれしい。」とコメントし、高橋留美子さんも「憧れのキャラクターの中にラムを入れてもらってとてもうれしい。」と思いを語った。

大泉アニメゲートを訪れた40代男性は、「子どものころからあこがれていたキャラクター達が躍動感ある姿で再現されていて驚いた。アプリで撮った写真もよいお土産になったし、今度は家族連れで来たい」と興奮気味に話してくれた。

練馬区では、ジャパンアニメーション発祥の地・大泉地区の玄関口として「大泉アニメゲート」を整備したことで、区内外、さらには海外からも来街者が訪れ、まちに一層のにぎわいが生まれることを期待している。



式典の様子(左から榊手塚プロダクション取締役手塚眞さん、松本零土さん、高橋留美子さん、(右)ちばてつやプロダクション千葉洋嗣さん)

【大泉アニメゲート】

ジャパンアニメーション発祥の地・大泉の玄関口として、練馬区ゆかりのキャラクター達が等身大でお出迎えるほか、アニメ作品の年表や、大泉のまちづくりを写真で振り返るグラフィックウォールなど、「アニメ・イチバンのまち練馬区」を体感できる空間。

【キャラクターモニュメント(等身大ブロンズ製)】

- ・『鉄腕アトム』(手塚治虫)より「アトム」
- ・『銀河鉄道999』(松本零土)より「メーテル」「星野鉄郎」
- ・『あしたのジョー』(高森朝雄、ちばてつや)より「矢吹丈」
- ・『うる星やつら』(高橋留美子)より「ラム」

【ねりまアニメ年表】

- ・区ゆかりのアニメ作品のカットを使用した年表(計29作品)

【グラフィックウォール】

- ・映画、アニメとともに歩んできた大泉のまちの移り変わりを写真で振り返る壁面デザイン



矢吹丈のブロンズ像と写真をとる住民

【新たにアプリも始動！】

スマートフォン用アプリ「大泉キャラクターカメラ」も新たに始動。アニメゲートに来てアプリを起動すると、練馬区ゆかりのキャラクターと一緒に記念撮影ができる仕組みで、仮面ライダーをはじめとしたフレームが全12種類用意されている。

(練馬アニメーションサイトページよりダウンロード可能)



【アニメ・イチバンのまち 練馬区】

練馬区は、日本初の劇場用長編アニメ「白蛇伝」や連続TVアニメ「鉄腕アトム」が「イチバン最初」に制作され、現在はアニメ関連企業数が約80社と、区市町村単位で「イチバン多い」集積地となっている。

また、手塚治虫氏・松本零土氏・高森朝雄(梶原一騎)氏・ちばてつや氏・高橋留美子氏をはじめ、多くの漫画家・漫画原作者が居住してきたまちでも知られる。

なかでも大泉は、「白蛇伝」が製作された東映アニメーションおよび「仮面ライダー」などの特撮・実写

で知られる東映東京撮影所が所在し、日本のエンターテインメント発信の中心地となっている。

【問い合わせ】 個人携帯番号となりますので、取扱いにご注意ください。

・ペDESTリアンデッキに関すること

都市整備部 西部地域まちづくり課 まちづくり担当係 電話 03 - 5984 - 4753

・大泉アニメゲートに関すること

産業経済部 商工観光課 アニメ産業振興係 電話 03 - 5984 - 1276